

## 福祉事業所インタビュー

市内の社会福祉法人が参加する社会福祉法人連携会より、福祉事業所で活躍されている職員を紹介します。今回は、三好町にある社会福祉法人あさみどりの風で働いているゼイヤー トウンさんとダルジ チャンドラ バハドゥールさんです！お二人は、特定技能制度という制度を使って、日本の福祉について勉強をしながら事業所で働いています！

### Q1

どんな仕事を  
していますか？

知的障がいのある方の支援を行っています。一緒に作業をしたり、食事や入浴介助など心を込めて行っています。また、日常生活支援や学習、就労支援なども行っています。

### Q2

今の仕事のやりがい  
を教えてください！

トウンさん：利用者さんが困っていることを手助けすると、利用者さんに喜んでもらえるところです。

ダルジさん：利用者さんが今までできなかったことが出来るようになった時、一緒に喜べるところです。

### Q3

現在の職場で働きたいと思った  
きっかけを教えてください！

トウンさん：ミャンマーでも福祉の仕事をしていて、とてもやりがいがありました。日本の福祉について勉強することで自分の成長につなげたいと思い、この職場で働きたいと思いました。

ダルジさん：私の母国ネパールには、福祉事業所がほとんどありません。私自身、祖父母の介護を自分で行っており、笑顔になってくれるととても嬉しかったです。ネパールの学校で日本について調べた際に、日本の福祉についてもっと勉強したいと思い、今の職場で働きたいと思いました。

### Q4

現在の職場は  
どんなところですか？

トウンさん：日本に来てもうすぐ1年がたちますが、利用者さん、職員の方と一緒に過ごすことがとても楽しいです！

ダルジさん：これまで、障がいのある方との関わり方を勉強したことがなかったので最初は戸惑いでしたが、先輩方がとても優しいので、安心して働けています。

### Q5

今後の目標を  
教えてください！

トウンさん：来年、日本語の試験があるので頑張ります！実務者研修、介護福祉士の試験にも合格できるよう、勉強を頑張りたいと思います！！

ダルジさん：私も日本語試験、介護福祉士の試験に合格できるように勉強頑張ります！

また、ネパールに福祉施設を作ることが将来の目標です！！



(左：トウンさん、右：ダルジさん)

## topic

### 地域福祉活動助成金を受けている助成団体の紹介

#### 「うちわ」

今回は、打越町で活動する団体「うちわ」のご紹介です！

この団体の代表を務めるのは、打越行政区にお住まいの増岡庶さんです。空き家を集いの場として位置づけ、地元の高齢者、子育て中の保護者・子どもなどが気軽に立ち寄れる場所を提供したい、という思いから始まった活動です。毎月第一月曜日に活動をしています。

取材をさせていただいた当日は、地域の様々な世代の方が集まり、おこしもの作りを行いました。作ったおこしものは増岡さんが炭火で焼き、参加された皆さんおいしそうに食べられていました。参加者同士の井戸端会議にも花が咲き、楽しまれている様子でした。

増岡さんは、最後に「この活動を通して、多世代交流が進んでいくと嬉しいです」とお話ししてくれました。

